

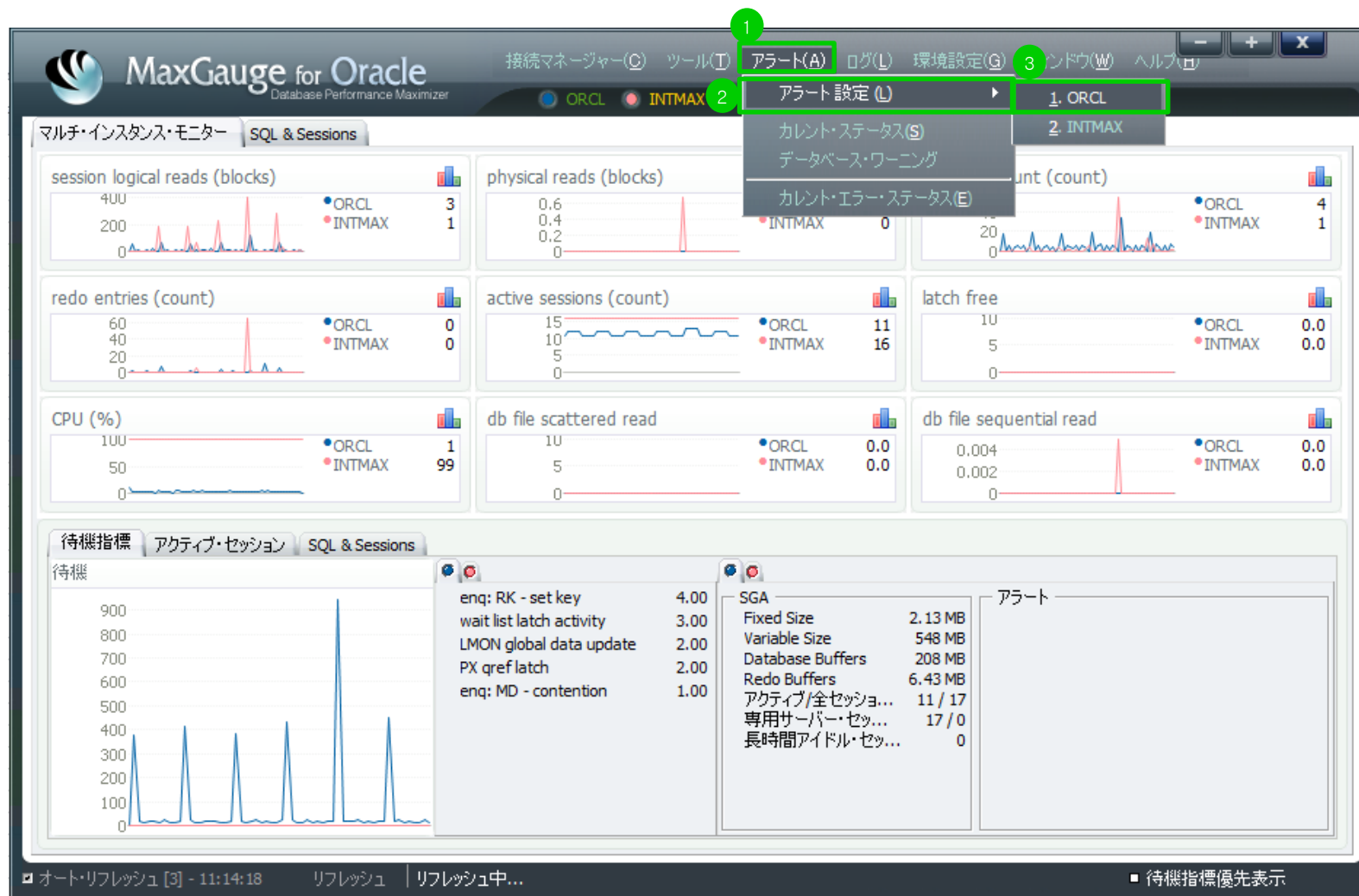
本TIPsは、以下の場面で活用します。

☑ ユーザデータ領域の使用率の上昇を素早く検知し通知する

※ システム稼働状況によって本手順の適切値と運用影響が異なりますので、本番環境への適用時には、事前に十分な検証を実施してください。

# 活用TIPs: ユーザーデータ領域の使用率を監視する(1/3)

「アラート」、「アラート設定」、「インスタンス名」順に選択します。(例: ORCL)



The screenshot shows the MaxGauge for Oracle interface with the following elements:

- Alert Menu (1):** The 'アラート(A)' menu is open, showing options like 'アラート設定(L)', 'カレント・ステータス(S)', 'データベース・ワーニング', and 'カレント・エラー・ステータス(E)'. 'アラート設定(L)' is highlighted.
- Alert Settings (2):** The 'アラート設定(L)' sub-menu is open, showing a list of instances: '1. ORCL' and '2. INTMAX'. 'ORCL' is selected.
- Alert Configuration (3):** The 'アラート' configuration window is open, showing various database parameters and their values.

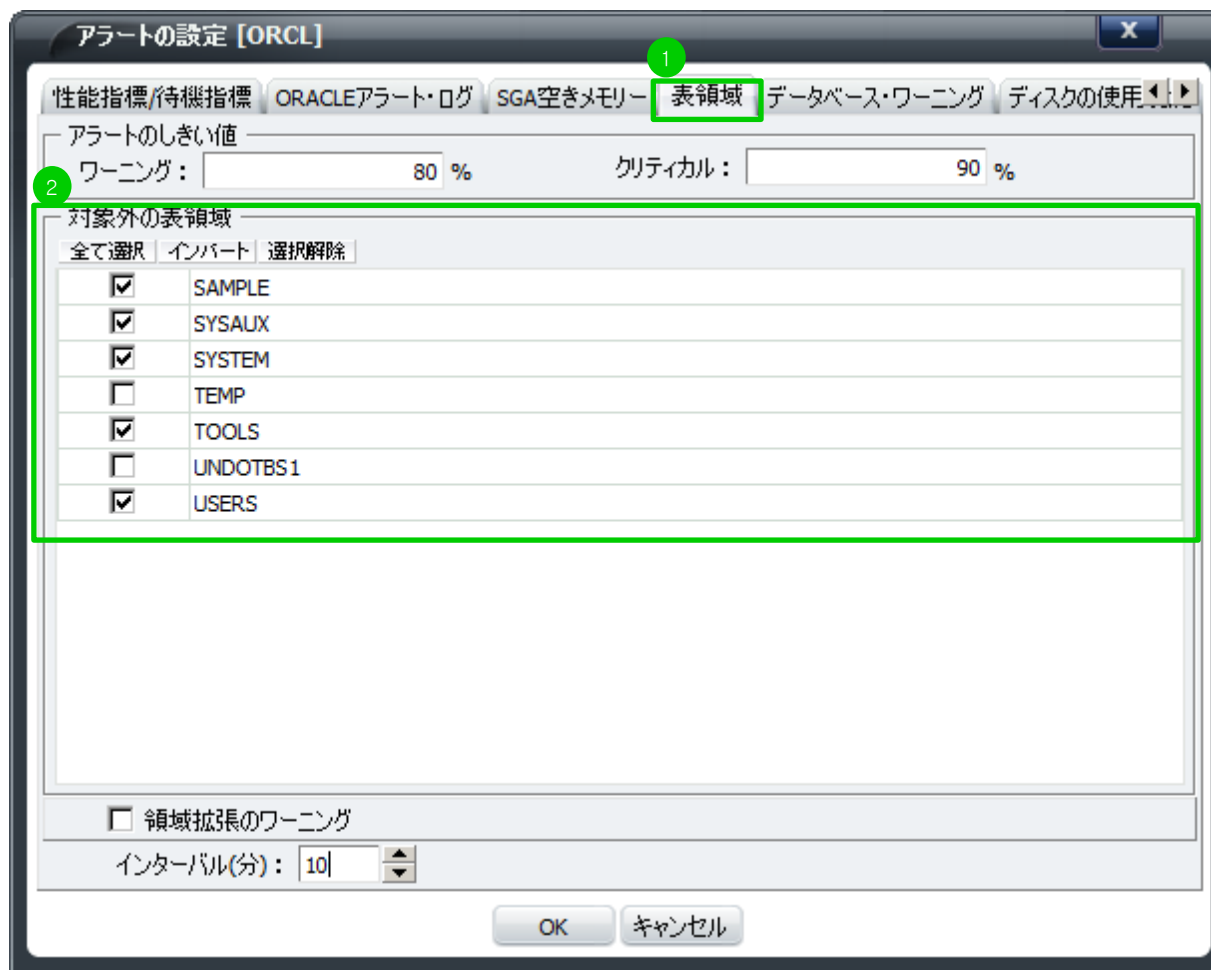
**Database Parameters:**

Parameter	Value
SGA Fixed Size	2.13 MB
SGA Variable Size	548 MB
Database Buffers	208 MB
Redo Buffers	6.43 MB
アクティブ/全セッション	11 / 17
専用サーバー・セッション	17 / 0
長時間アイドル・セッション	0

**Alert Configuration Table:**

Alert Name	Severity
enq: RK - set key	4.00
wait list latch activity	3.00
LMON global data update	2.00
PX qref latch	2.00
enq: MD - contention	1.00

アラート設定で、「表領域」をクリックし、監視対象のユーザデータ領域を選択します。  
※特性のある TEMP、UNDOに関しては、ユーザデータ領域と分けて監視します。

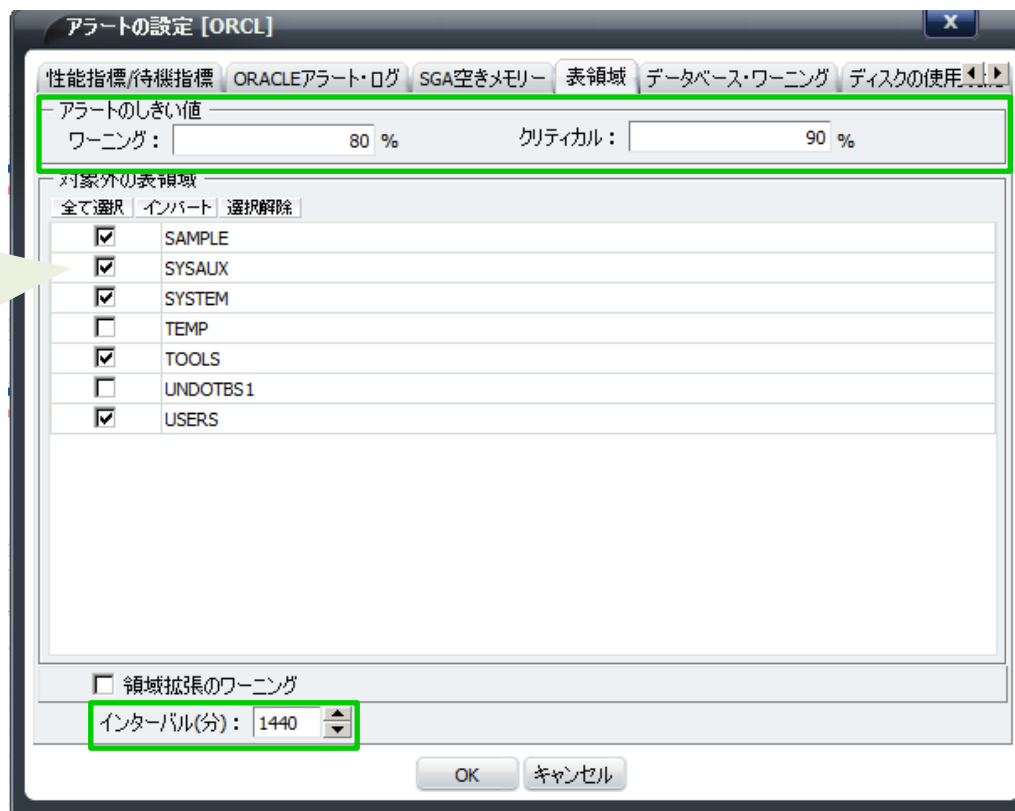


アラート追加で、「ワーニング」、「クリティカル」閾値と「インターバル」を設定します。

<推奨設定値>

指標	大小	ワーニング	クリティカル	単位	インターバル
表領域(ユーザーデータ)使用率	>	80	90	%	1日

例では、ユーザーデータ領域の使用率を1日間隔でチェックし、使用率が80、90%を超えたら、ワーニング、クリティカルのアラートを通知します。



引き続き、メール設定を行う場合は MaxGauge TIPs 「[CPU使用率の監視を行う](#)」の4ページからご参照ください。



今回のTIPからは、以下の事を確認しました。

- ✓ ユーザデータ領域の使用率の監視方法



MaxGauge TIPsはこちら

[http://www.ex-em.co.jp/exem\\_lab0/exemlabo\\_maxgauge\\_tips\\_index.html](http://www.ex-em.co.jp/exem_lab0/exemlabo_maxgauge_tips_index.html)

<お問い合わせ>

日本エクセム株式会社

TEL: 03-4530-9598

e-mail: [service@ex-em.co.jp](mailto:service@ex-em.co.jp)

DATABASE **ARTIST** GROUP

<http://www.ex-em.co.jp>